

SAE Fellow 認定の報告

群馬大学 小保方 富夫 教授
“SAE Fellow” 認定

志賀 聖一 (群馬大学)

SAE International は、群馬大学大学院工学研究科機械システム工学専攻の小保方富夫教授を SAE Fellow に認定した。よく知られているように、SAE は会員数 9 万人を超える機械系で最大の国際的な学会であり、Fellow には毎年新しく約 20 人が認定され、1975 年以來、故人を含めると 600 人弱がこの資格メンバーになっている。日本の大学関係者では 15 人目であり、群馬大学関係者では、大学発足当時の熱及熱機関講座 (後の熱工学講座、現在のエネルギーシステム工学分野第二研究室) の浅沼強教授 (東大名誉教授、エンジンの吸・排気管効果の解析など)、大学第一回卒業生の八木静夫博士 (本田技術研究所社友、CVCC エンジンの開発など) に続き 3 人目である。本会員資格は数名の推薦者による申請書に基づ

き、Fellow 委員会で選出されるもので、Fellow 資格は、研究、技術革新、創造的なリーダーシップを通して自動車技術の発展に顕著な影響を与えた個人の業績を認め、名誉を与えるものであり、小保方先生の長年の地道な努力が認められたものである。

推薦代表者は先生の古い友人でもあるインド工科大学の Babu 教授であり、推薦理由には、①レーザー流速計によるエンジン内流れの実時間計測のパイオニア、②層流型流量計や LDA 噴射率計などの計測器の開発、③国際エネルギー機関、日本機械学会、日本学術振興会などを介したエンジンの燃焼改善とエネルギーセキュリティに関する国際研究協力活動、④JABEE 認定推進など日本の技術者教育改善への貢献、などが挙げられている。また、同時に小保方先生は日本機械学会創立 110 周年記念式典において功労者表彰を受けられた。合わせて報告し、研究室一同とともに喜びを分かち合いたい。



小保方 教授

総合 2007年(平成19年)11月20日 火曜日 タカ 桐生タイムス



名誉会員に認定された小保方富夫教授 (群馬大学工学部で)

小保方教授 (群馬大学) SAE 名誉会員に

自動車技術発展の功績で

群馬大学大学院工学研究科機械システム工学専攻の小保方富夫教授 (64) は、このほど、機械系で最も大きな国際学会「SAE International」の名誉会員に認定された。同会では研究、技術革新など創造的な取り組みで、自動車技術の発展に寄与した個人の業績を認め、毎年 20 人ほどを名誉会員として認定している。今年度の認定は 27 人

で、これまで 600 人がフェローのメンバーとなっている。今回の小保方教授の認定は、レーザ流速計によるエンジン内の流れの実時間計測や、層流型流量計や LDA 噴射率計などの計測器の開発、エンジンの燃焼改善やエネルギーセキュリティに関する国際研究協力、JABEE 認定の推進を通じた技術者教育の改善などの功績が評価されたもの。群馬大学関係者の認定は、工学部発足時の熱及熱機関講座 (現エネルギー 12 研) で教授だった浅沼強さん (東京大学名誉教授)、同大学の第一回卒業生でホンダ CVCC エンジンの開発にたずさわった八木静夫さんに次いで 3 人目。授与式は 2008 年 4 月、アメリカのデトロイトで行われる。小保方教授は「認定がみなさんの励みになればうれし」と話している。